

つきがた 広報

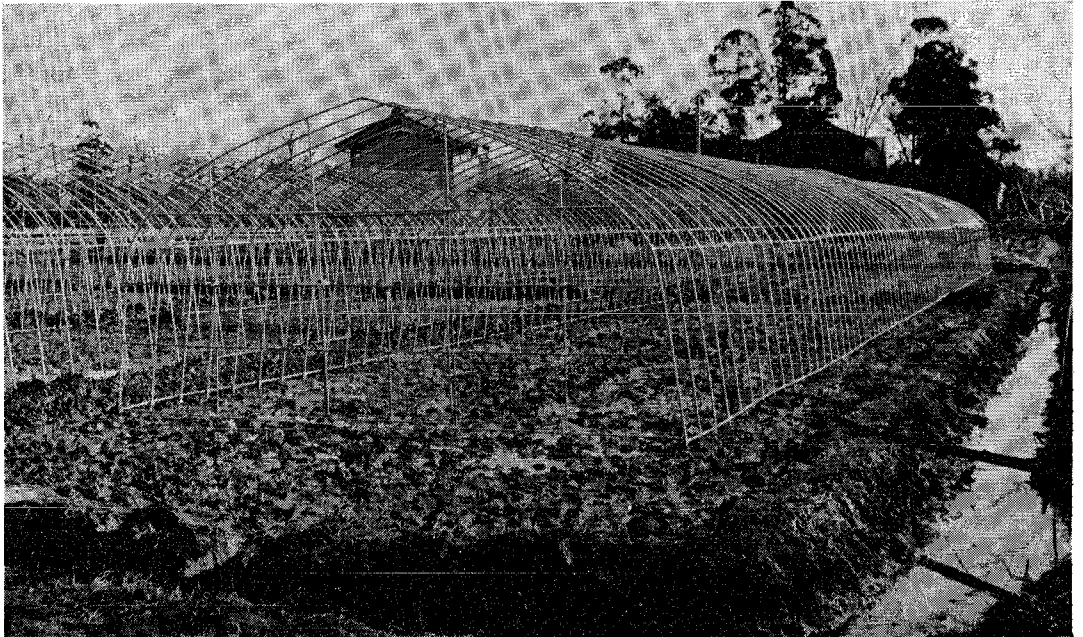
第 27 号

昭和 47 年 2 月

発行

月 瀧 村 役 場

人口動態	1月31日	現在	1月中の異動	
	世帯数	人口総数 3,890	出生 6	転入 6
	(男 1,880)	女 2,010)	死亡 2	転出 5



集団転作事業すすむ

―西萱場の基盤整備―

稲作依存度の極めて高い本村農業は、最近の米をめぐる厳しい情勢のなかで大きな試練に直面しています。

このような情勢に対処し農業経営の安定向上をはかろうと、いま西萱場集団転作組合（組合長 北勇作 外十五名）において組織的

集団的に稲以外の作目に統一した生産振興をはかろうと地区農業の総合計画を樹立し、農業者らしい農業を実現しようと、不利な諸条件を克服しながら着眼的に、生産基盤の整備、近代的施設の導入に取り組み生産性の向上につとめております。いまその努力が実を結びつつあり、その成果が大いに期待されております。

計画実施された事業の内容についてみますと、

(一) 基盤整備事業 実施面積六・四ヘクタールでかんがい排水事業が実施され湿田を畑地に換えようという計画です。

幹線排水路の改修約五二九米支線排水路改修五二九米、暗きょ排水約四ヘクタールの事業を主体にこれから出てくる水を一ヶ所に集水し、排水機ポンプ二〇〇ミリ一基、八〇ミリ一基に

より排水を行なう事業です。これらの事業もほぼ完成し今迄耕耘機すら入らなかつた湿田も一変して畑地に生まれかわろうとしています。

(二) 近代化施設 以上の基盤整備が実施され畑地化した圃場に作目を統一して一連の施設を共同利用すると同時に水稲とそさいの調和のとれた複合経営を行ない生産性の向上につとめる計画です。

大型トラクター二四馬力一台ハンマーカルチ五台、格納庫一棟四九・五平方米、共同育苗施設（ガラス室）一棟七九・二平方米、園芸ハウス（ビニール）一・一五五平方米、畑地かんがい施設（スプリンクラー）約五ヘクタール、等の施設導入で西萱場地内の一面に着々完成しております。

(三) 生産計画 以上の事業により美化された土地と、近代的施設を高率的に利用するとともに生産流通体制は、生産から販売まで共同で実施し、価格の安定をはかるため企業との契約栽培が計画実施され、その活動が展開されていきます。